



2022年3月期通期 決算説明会

セレンディップ・ホールディングス株式会社 | 証券コード：7318





Table of Contents

- 1.会社概要**
- 2.通期業績**
- 3.業績予想**
- 4.Q&A**

会社概要

About Company

—
*we can create
a better world*



当社設立の社会的背景

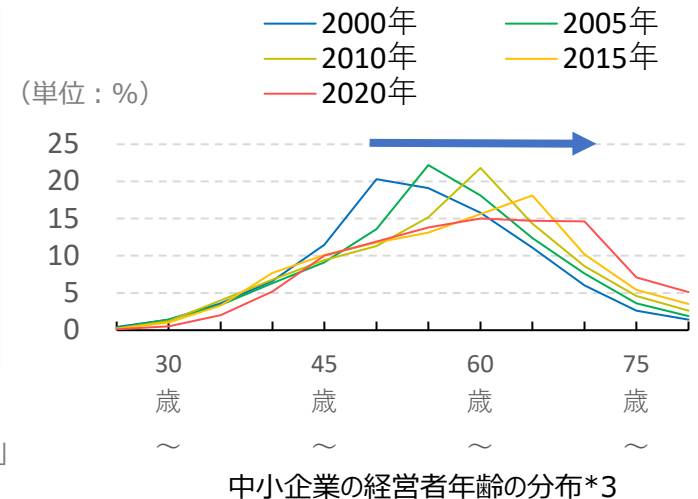
① 対応が追いつかない事業承継ニーズの急拡大

政府は2025年までに高齢化等を理由とした後継者難で黒字廃業の可能性のある約60万者（6万者/年）の第三者承継を促すことを目標としています*1が、昨年度の事業引継ぎ成約件数は1,379件*2と、圧倒的に対応が不足しています

*1：中小企業庁「第三者承継支援パッケージ（2019年）」

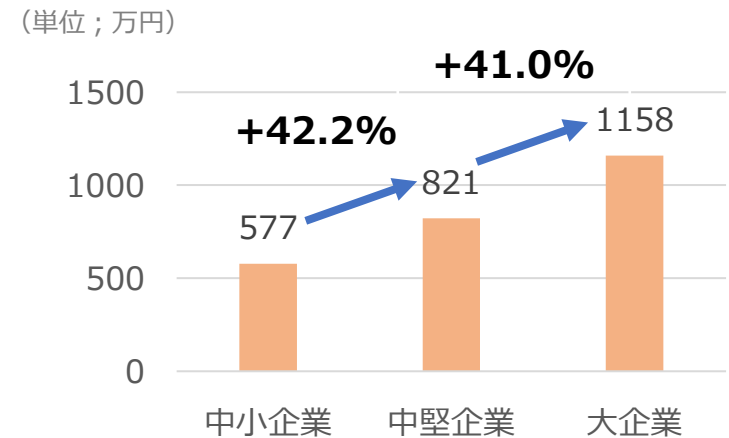
*2：独立行政法人中小企業基盤整備機構「News Release（2021年6月29日）」

*3：中小企業庁「2021年版中小企業白書」



② 規模拡大で生産性を高めるための事業承継プラットフォームの必要性

持続的成長を実現するため、生産性を高める事業規模拡大は不可避であり、事業・会社を長期保有する事業承継プラットフォームの必要性が高まっています



100年企業の創造：日本の中堅・中小製造業に経営革新をもたらし、 中小企業の未来を創る

私たちセレンディップグループは、モノづくり企業に特化した事業投資会社として、「経営の近代化」と「地方創生」を積極的に推進します



事業承継プラットフォームの構築

モノづくり製造業を柱にした
地方型事業承継の確立

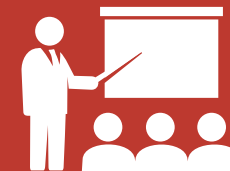
長期保有を前提とした
成長へのコミットメント



中小企業の経営近代化

プロ経営者を軸とした経営革新

徹底した効率化と見える化を
軸としたDX



M&Aによる業界再編

次世代経営者の育成

M&Aによる業界再編、事業承継の
標準化と外部企業への提供

(注) 社会環境や産業構造の急激な変化を敏感に察知して、時代にフィットした経営を行うことを、当社では「経営の近代化」と呼んでいます。

セレンディップ・グループ企業一覧

成長するモノづくり企業とそれを支えるプロフェッショナルをグループ化



セレンディップ・ホールディングス株式会社

インベストメント

売上高*1 6,890万円

従業員数*2 6名*3



セレンディップ・フィナンシャル
サービス
(投資・FA業務)

モノづくり

売上高*1 129.8億円

従業員数*2 372名



天竜精機
(FA装置製造)



佐藤工業
(オートマ機能部品製造)



三井屋工業
(自動車内外装部品)

プロフェッショナル・ソリュー
ションセグメント

売上高*1 11.8億円

従業員数*2 100名



セレンディップ・テクノロジーズ
(設計・開発のエンジニア派遣、
ソフトウェア設計・開発・
販売・保守)

*1: 2022年3月実績 *2: 2022年3月末時点 *3: セレンディップ・ホールディングス(株)より出向

通期業績

Financial Results

—
*we can create
a better world*



2022年3月期 通期連結業績サマリ

売上高は、概ね前期比並みで着地

営業利益は、インベストメント事業で前期に投資先売却益を確定させた反動で減少

売上高

13,805百万円

前期比 $\Delta 4.5\%$

営業利益

194百万円

前期比 $\Delta 40.6\%$

経常利益

179百万円

前期比 $\Delta 57.0\%$

親会社株主に
帰属する
当期

純利益

199百万円

前期比 $\Delta 49.8\%$

2022年3月期 通期連結業績サマリ (セグメント別)

売上高

セグメント利益

モノづくり事業

12,983百万円

対前期+125百万円

前期比+1.0%

210百万円

対前期+46百万円

前期比+27.9%

プロフェッショナル・
ソリューション事業

1,180百万円

対前期+24百万円

前期比+2.1%

8.7百万円

対前期△71百万円

前期比△89.1%

インベストメント
事業

68百万円

対前期△827百万円

前期比△92.3%

△24百万円

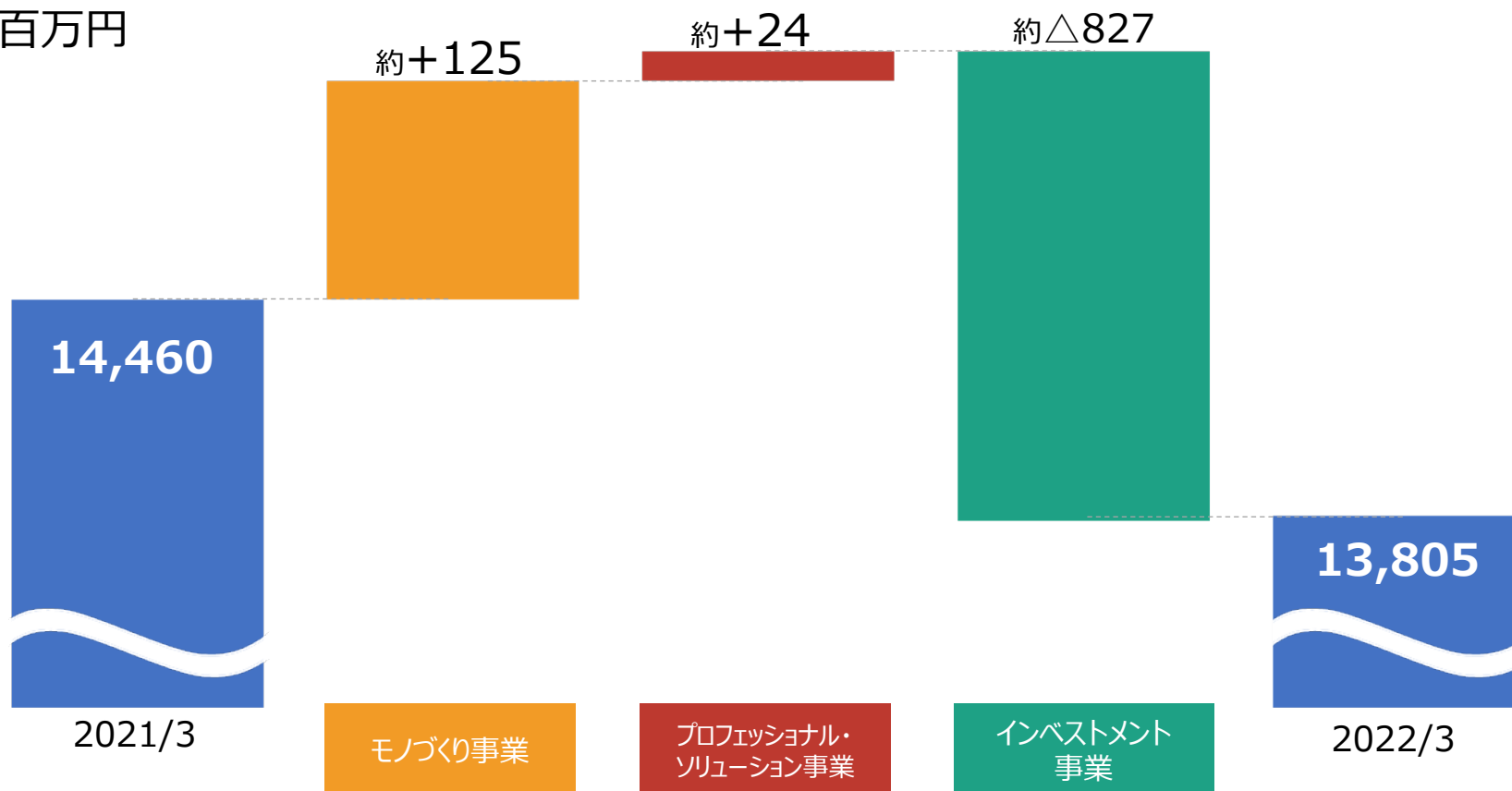
対前期△107百万円

前期比-%

2022年3月期 通期連結売上高増減分析

モノづくり事業：自動車メーカーの度重なる生産計画の見直しが発生するも受注は回復基調
プロフェッショナル・ソリューション事業：製造現場改善およびDXコンサルの受注が好調
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で減少

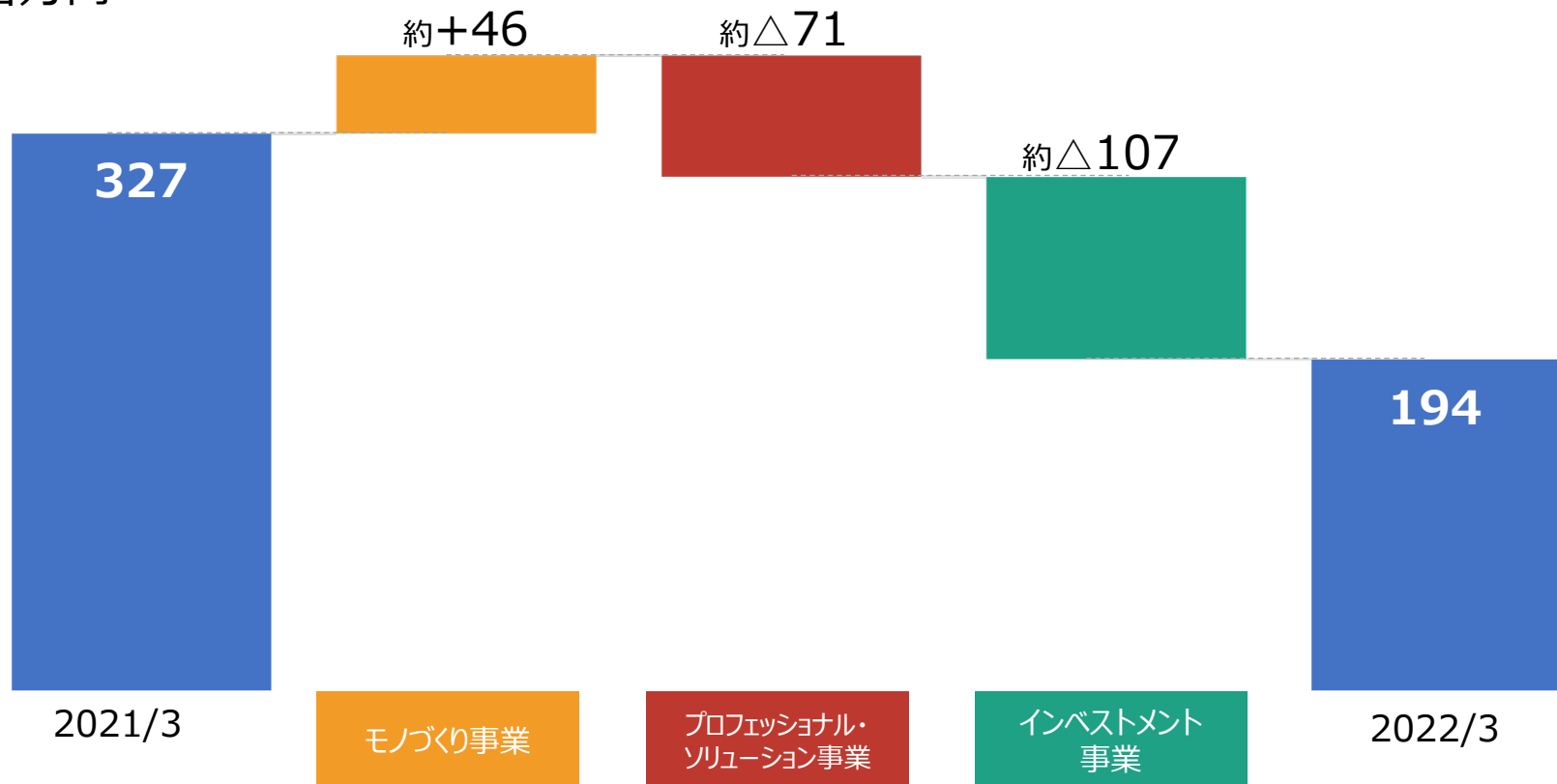
単位：百万円



2022年3月期 通期連結営業利益増減分析

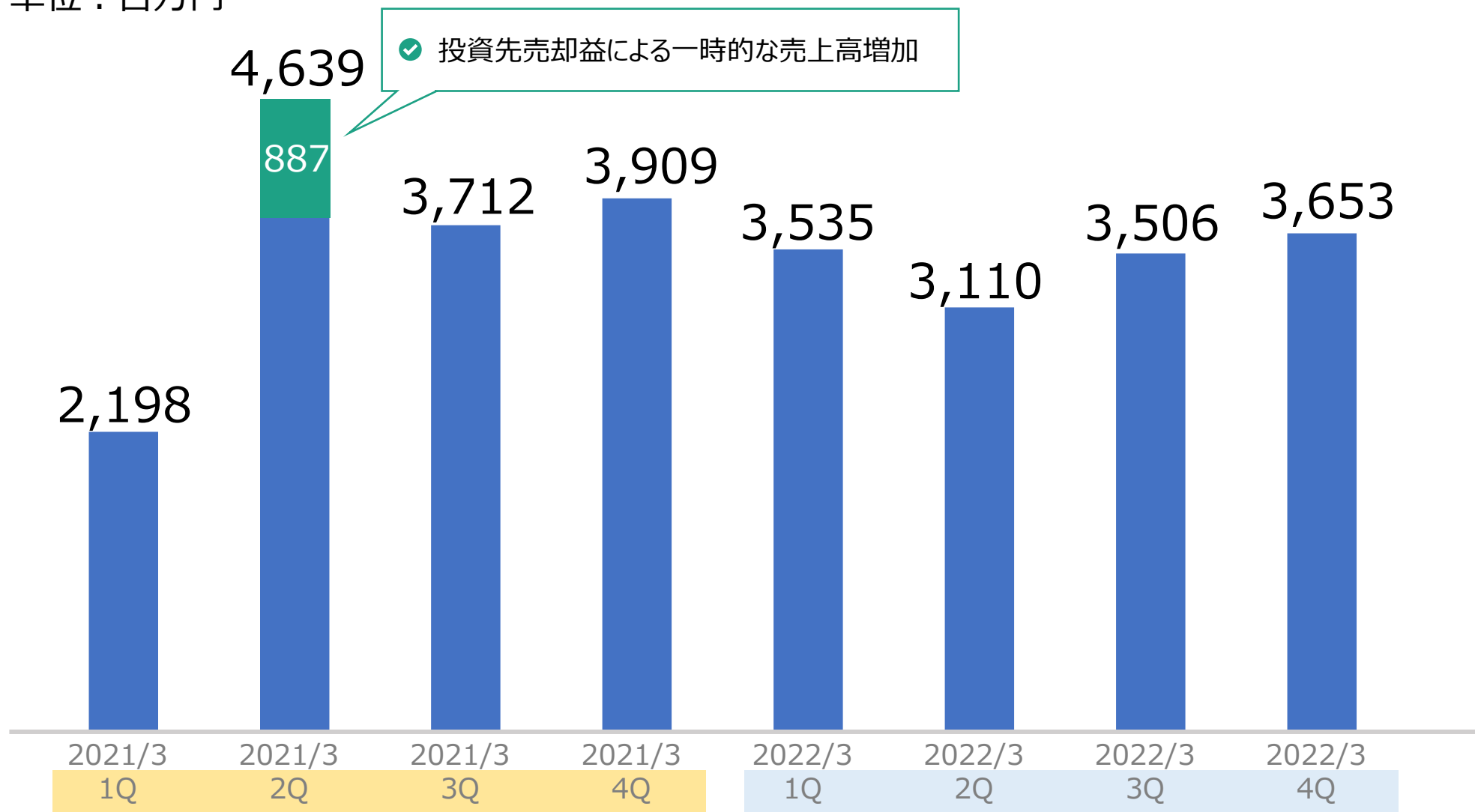
モノづくり事業：製造現場の生産性向上やコスト削減の実施により前期比増加
プロフェッショナル・ソリューション事業：受注に応えるべく積極採用し、人件費等が増加
インベストメント事業：前期に投資先売却益を確定させた反動で減少

単位：百万円



連結売上高四半期推移（会計期間）

単位：百万円

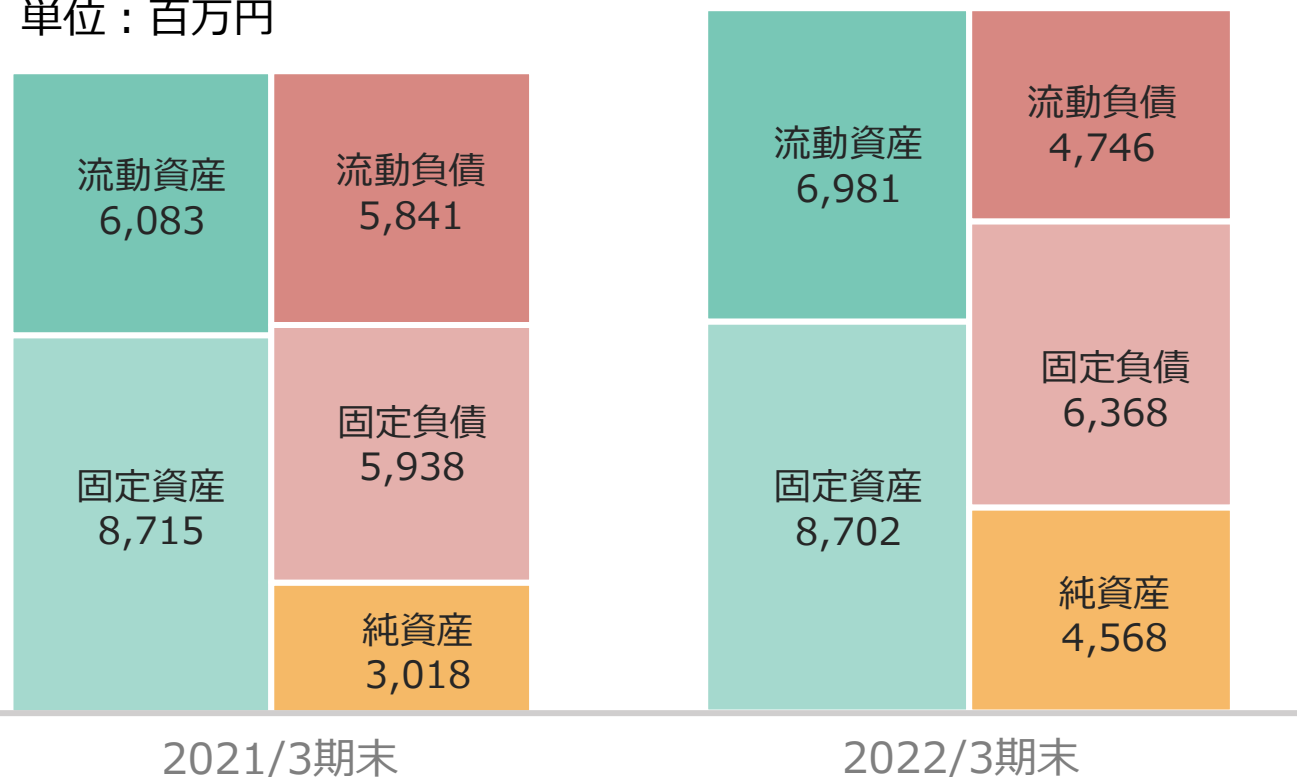


(注) 2021/3 4Q以前につきましては監査法人の四半期レビューの対象外となっております。

連結貸借対照表サマリ

- 自己資本比率は、前期末19.8%から28.5%に増加
上場による公募増資による純資産増加 +1,016百万円
保有する有価証券の評価益増加 +281百万円

単位：百万円



自己資本比率

28.5%

前期末比+8.7pt

業績予想

Earnings Forecast

—
*we can create
a better world*



2023年3月期業績予想

売上高は、全セグメントで増収

営業利益は、モノづくり事業において、変動的な市場環境に対し、機動的な稼働コントロールや生産現場のIoT化で対応し増益

売上高

15,592百万円

前期比+12.9%

営業利益

366百万円

前期比+87.8%

経常利益

269百万円

前期比+49.9%

親会社株主に
帰属する

当期
純利益

200百万円

前期比+0.0%

2023年3月期 セグメント別業績予想

売上高計画

モノづくり事業

14,392百万円 前期比+10.8%

プロフェッショナル
ソリューション事業

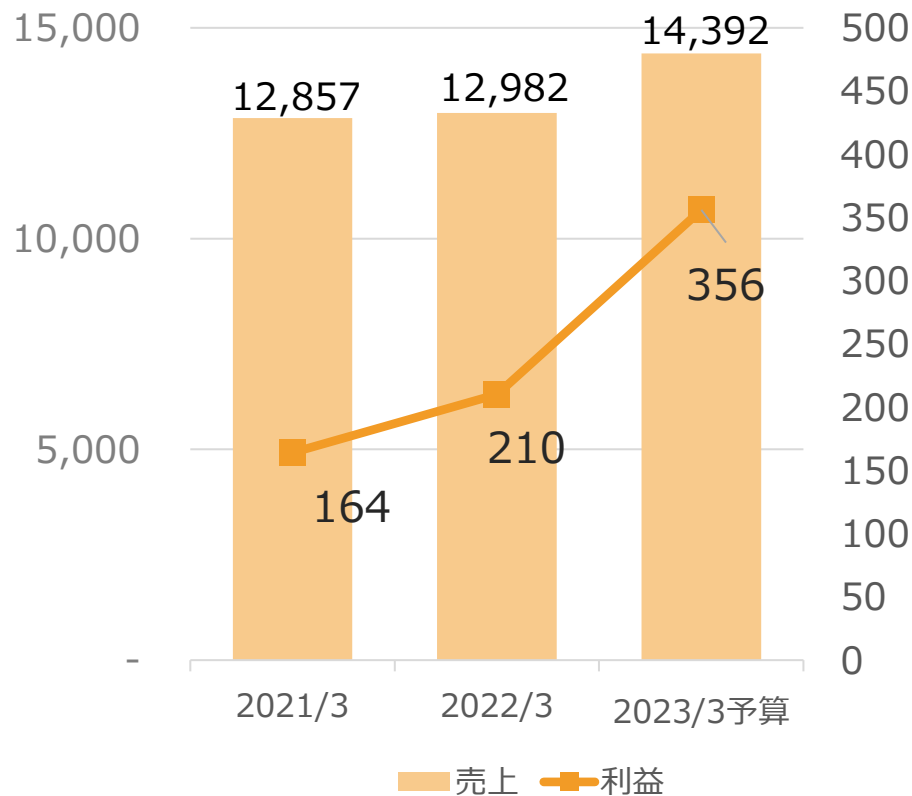
1,442百万円 前期比+22.1%

インベストメント
事業

182百万円 前期比+164.1%

モノづくりセグメントの目標とする「売上高・営業利益」の推移

単位：百万円



今期見通し

売上高・営業利益

- 需要回復を見込んでいる一方、部品不足に起因する減産リスクや原材料及び輸送コストの高騰などを懸念しており、より保守的な前提に基づいて予想
- 固定費削減施策・生産性向上施策を徹底
- 電気自動車（EV）関連部品の開発を継続

省人化に向けた取り組み

三井屋工業 東北工場(20年竣工)では、スマートファクトリー設計を施しております。製造現場では、AGV（無人搬送車）を使用する等によって従来人工の半分に抑えております。

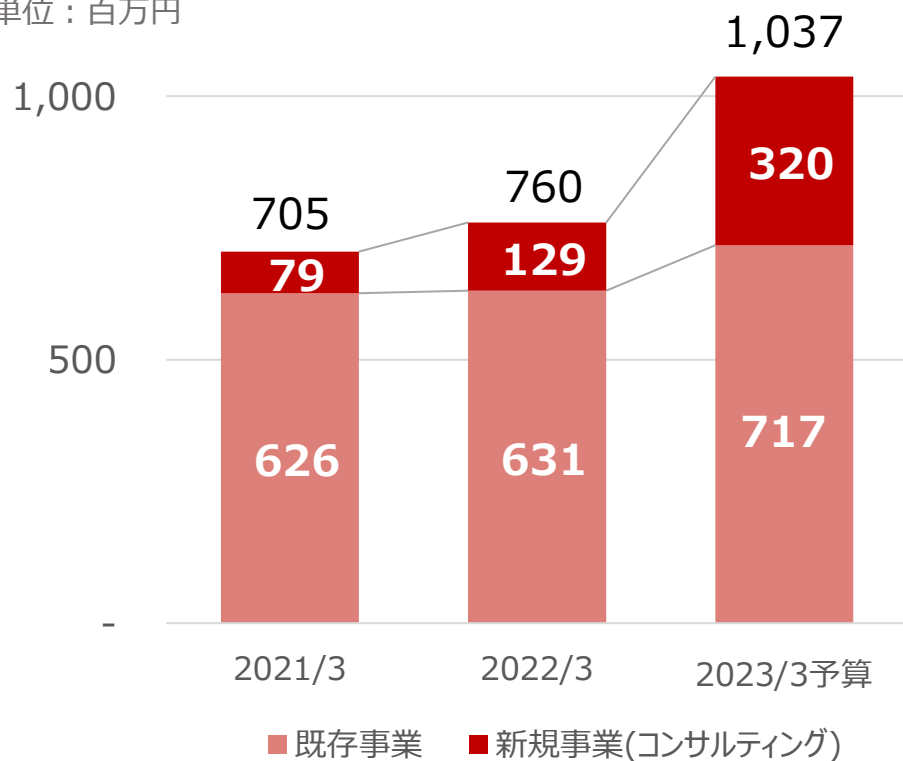


(注) 「セグメント情報」のセグメント売上高・セグメント利益の数値を基に記載しております。

プロフェッショナル・ソリューション事業の業績予想

プロフェッショナル・ソリューションセグメントの目標とする「外部顧客への売上高」の推移

単位：百万円



今期見通し

プロ経営者派遣、コンサルティング

- コロナ終息後の見通しが不透明ななかで、経営コンサルティング・現場改善コンサルティングへの引き合いが当面継続すると想定
- DXに対する旺盛な投資意欲を受け、DXコンサルティングの引き合いは特に強い
- 人員強化（2021年4月4名→2023年3月14名予定）で受注をこなし売上増加を見込む

エンジニア派遣、ソフトウェア開発

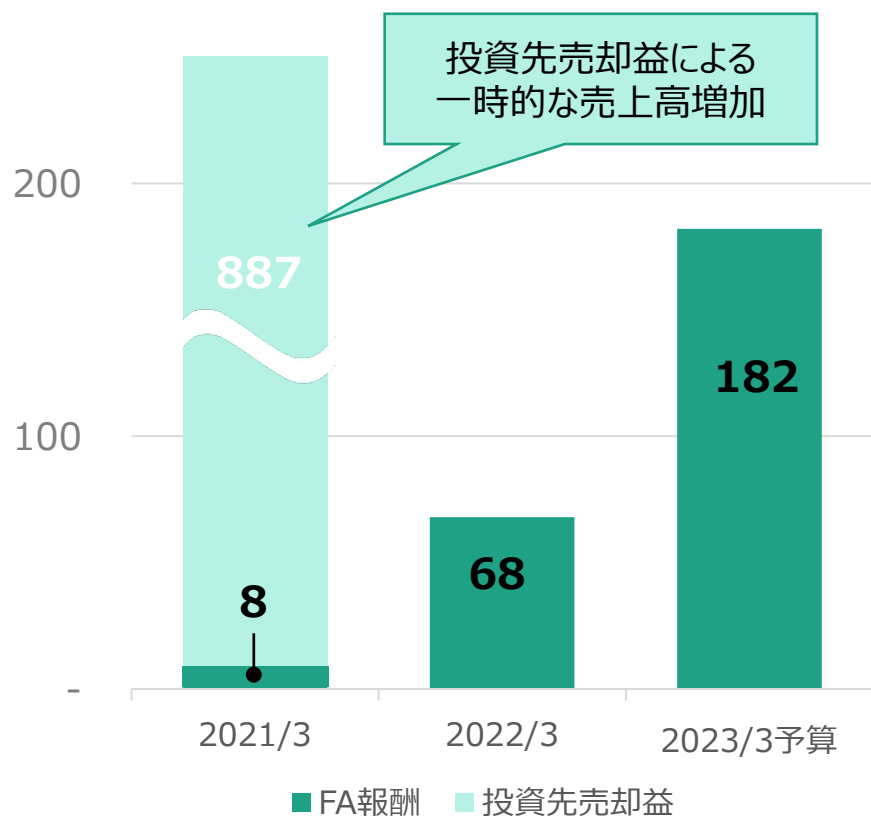
- IT人材の需要は旺盛だが、エンジニア採用競争激化
- エンジニア派遣待機人員の減少、および採用強化による稼働人員数の増加で売上確保

(注) 「セグメント情報」の「外部顧客への売上高」数値を基に記載しております。

インベストメント事業の業績予想

インベストメント事業の目標とする「売上高」の推移

単位：百万円



今期見通し

フィナンシャルアドバイザー（FA）

- 案件創出の機会拡大のため、複数地方銀行とのアライアンス締結を継続
- アライアンス拡大を受け、FA案件は増加傾向にあり、営業要員を増加（2021年4月4名→2023年3月9名予定）し、成約に向けた活動を強化

投資

- 金融機関とのアライアンス拡大を受け投資検討案件は増加傾向

(注) 「セグメント情報」のセグメント売上高・セグメント利益の数値を基に記載しております。

本資料に関する免責事項

本資料には、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、一定の前提（仮定）の下になされています。これらの記述又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり、又は将来実現しないという可能性があります。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。



ir@serendip-c.com



Contact Us



愛知県名古屋市中区錦 1-5-11
名古屋伊藤忠ビル



052-222-5306



<https://www.serendip-c.com/>